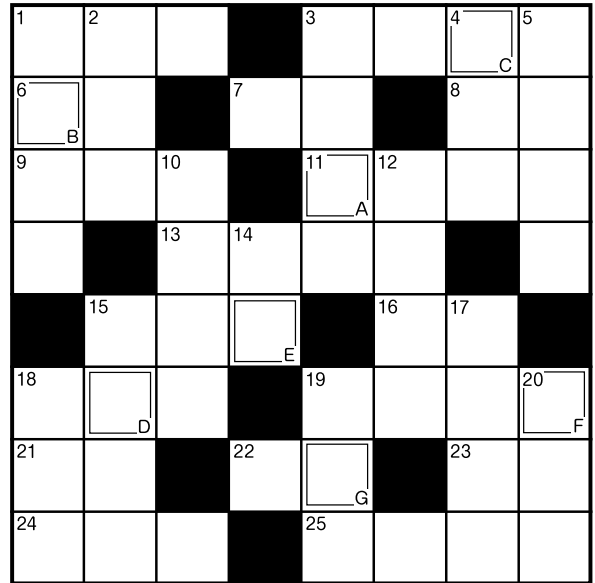


(2026年2月)

ヨコのヒント

- 1 高市○○○氏は、日本の憲政史上、初めての女性首相です。
- 3 聖徳太子は、進んだ国の文化を取り入れるために、607年に小野妹子を○○○○使として送りました。
- 6 表には出ずに、裏で人や物事を動かすことを「○○を引く」といいます。
- 7 植物の種子の中にあり、発芽すると葉・茎・根になる部分。
- 8 □入、□後、□落、沈□。□に共通して入る漢字の読みは？
- 9 野球で、ランナーが無事に塁に進むこと。反対語は「アウト」。
- 11 「底辺×高さ÷2」など、計算の決まりを記号やことば・数字で表したもの。
- 13 事前に相談して、話が食い違わないように示し合わせることを「○○○○を合わせる」といいます。
- 15 肉を売っているのは肉屋。魚を売っているのは魚屋。では、野菜を売っているのは？
- 16 たんす、のぼり旗、ようかんなどを数えるときの単位。
- 18 「これがまあ 終の○○○○か 雪五尺」(小林一茶)
- 19 強く約束すること。「必ず出席すると○○○○する」などと使います。
- 21 花の基本をつくる4要素。花弁、おしべ、めしべと、もう一つは？
- 22 大勢の人が一斉に散らばって逃げる様子をたとえて、「○○の子を散らすよう」といいます。
- 23 「物事をはっきりさせる」という意味の「□黒をはっきりさせる」。□に入る漢字の読みは？
- 24 「人との関係を絶つ」という意味の「○○○を分かつ」。○○○は着物のそでにある袋状の部分です。
- 25 長く太陽系の第9惑星とされてきた○○○○星。現在は準惑星に分類されています。



【答え】

A	B	C	D	E	F	G

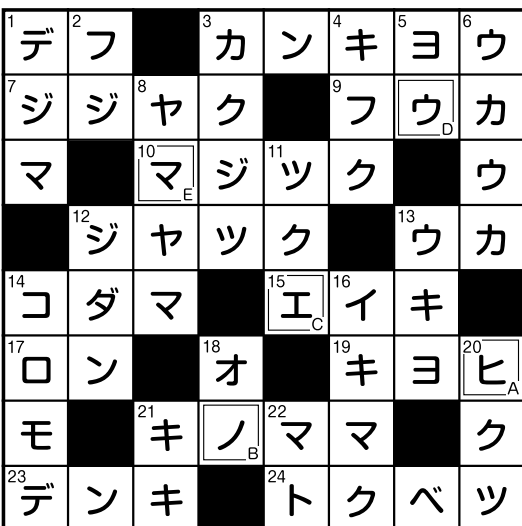
- 20 「○○○を重なる」(○○○○の種) など使います。
- 19 童謡「○○○○の水兵さん」に登場する、冬にシベリアなどから渡ってくる海鳥。
- 18 「あまつ風雲の通ひ路」吹きとちよ女(女)の○○○○しごととめむ(僧正遍昭)
- 17 日本列島の太平洋側を北東から南西へと流れる寒流。千島海流とも呼ばれます。
- 15 も見つからないよ
- 14 □わん、□の湯、□の間、□柱。□に共通して入る漢字の読みは？
- 12 同じ耕地で一年に2種類の作物を栽培するとき、主要ではないほうの作物を栽培すること。
- 10 九州で最も人口の多い○○○○市。山陽新幹線の終着駅でもある博多駅があります。
- 5 一つのことをして、二つの得をする。○○○○○兩得」といいます。
- 4 他人の迷惑などをびたりと言いつけること。「先生に○○○を指されて驚いた」などと使います。
- 3 2027年末までに製造が終了することが決まっています。
- 2 北大西洋条約機構。英語名の略称から「○○○」と呼ばれます。
- 1 水力・風力・太陽光・地熱など自然界に存在し、持続的に利用できるエネルギーを○○○○可能エネルギーといいます。

タテのヒント

前月号の解答と解説

【答え】

A	B	C	D	E
ヒ	ノ	エ	ウ	マ



★ひのえうま

「ひのえうま」とは、中国で生まれた「十干」と「十二支」を組み合わせた「干支」の一つで、「丙午」と書きます。十干には、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の10の要素があります。年や日をそれぞれの要素に順に当てはめ、10年や10日でひと巡りさせるのに使われます。一方、十二支は子・丑・寅・卯・辰・巳・午・未・申・酉・戌・亥の12種類から成り、それぞれ、順にネズミ・ウシ・トラ・ウサギ・タツ・ヘビ・ウマ・ヒツジ・サル・ニワトリ・イヌ・イノシシの12の動物が割り当てられています。

この十干と十二支を組み合わせたものが干支で、60年で一巡します。歴史で学ぶ「壬申の乱」「戊辰戦争」「辛亥革命」も、干支に由来する名称です。2026年は、その干支がちょうど一巡し、60年ぶりの丙午に当たります。

日本では丙午の年に出産を控える風習がありますが、これは江戸時代の迷信に由来します。恋人に会うために自宅を放火したとされる「八百屋お七」が丙午生まれとされたことから、丙午の女性は気性が激しく家庭を壊すと信じられたのです。干支が人々に影響を与えてきた一例といえます。

ヨコ

- 1 デフ
- 3 環境(かんきょう)
- 7 自若(じじゃく)
- 9 風化(ふうか)
- 10 マジック
- 12 ジャック
- 13 羽化(うか)
- 14 こだま
- 15 英気(えいき)
- 17 論(ろん)
- 19 拒否(きょひ)
- 21 着のまま(きのまま)
- 23 電気(でんき)
- 24 特別(とくべつ)

タテ

- 1 出島(でじま)
- 2 富士(ふじ)
- 3 確実(かくじつ)
- 4 起伏(きふく)
- 5 要(よう)
- 6 うかうか
- 8 やまやま
- 11 机(つくえ)
- 12 示談(じだん)
- 13 浮世(うきよ)
- 14 衣手(ころもて)
- 16 息巻く(いきまく)
- 18 おの
- 20 卑屈(ひくつ)
- 21 危機(きき)
- 22 的(まと)